

## 安全で安心な外来看護。その人らしさを支える継続看護を提供します。

患者さんが最初に訪れる場所で、病院のイメージを抱かれる場所が外来です。外来を訪れる限られた時間の中で、患者さんに寄り添った看護が提供できるよう、患者さんの状況や問題点、希望を迅速に判断し、安心して安全な治療が受けられるようにさまざまな職種と連携し、看護を提供しています。外来診療のある19の科と化学療法室、内視鏡室、救急外来に看護師が配置され、約800人/日の患者さんに対応しています。

向上心の高い外来看護師は、それぞれの科の特性や日々変化する最新の医療に追いつくべく、自らの知識・技術の向上に努めています。また病棟との連携を図りながら継続看護を行っています。ママさん看護師も働きやすい環境で、みんなで協力し日々の業務を実践しています。



12年目看護師  
宮本 友夏

### 日常を続けてもらうために私たちができること

私は東広島医療センターに就職して12年目を迎え、外来勤務は6年目になりました。当初は患者さんへの関わり方について迷う事がありましたが、外来看護の役割が分かるようになってきました。ある時、検査を受けることに納得していなかった患者さんに、受けたくないという思いを受け止め、再度説明を行い、検査を受けて頂けた事がありました。患者さんを理解するために反応をよく見て、どんな声かけが良いかを読み取っていく力が重要だと実感しています。今の日常を続けてもらうため医師と患者さんの間に立ち、支えていく事が大きな役割の一つだと思います。これからもたくさんの患者さんと関わっていきたくです。



10年目看護師  
三浦 真美

### ママになっても続けられる職場

入職してからずっと病棟勤務でしたが、出産し育児休暇取得後、外来へ配属になりました。外来勤務は初めてであり、子育てしながら仕事を続けていくことに最初は不安しかありませんでした。復帰後は、育児時間を利用して業務時間を調整しており、子どもの病気で急な勤務変更や休暇をお願いすることもよくありますが、協力してフォローし合える雰囲気できています。育児のことで先輩の看護師に相談することもあり、安心して仕事を続けられています。

外来は、各診療ブース、救急、内視鏡、化学療法等、幅広い看護知識・技術が習得できる機会も多いので、これから様々な経験を積んで看護師としても成長していきたいと思っています。